

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	当院におけるセンチネルリンパ節撮像の実際
当院の研究責任者	所 属：放射線室 責任者：岩本 洋香
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>腫瘍からのリンパ流を受ける最初のリンパ節は、センチネルリンパ節と呼ばれ、腫瘍のリンパ行性転移を知る上で重要なリンパ節として位置づけられています。悪性腫瘍の場合 所属リンパ節への転移の有無は 病期診断のみならず予後を予測するために必要かつ重要な因子とされています。所属リンパ節転移の有無を合理的に判断できる方法としてセンチネルリンパ節仮説（以下センチネルリンパ節コンセプト）が提唱されました。腫瘍からのリンパ流を初めに受ける数個のリンパ節を手術で摘出し迅速に病理診断します。病理診断したリンパ節に転移がないと確認できれば、それ以降の二次リンパ節群への転移の可能性が極めて低いと診断が得られます。センチネルリンパ節コンセプトが適応できる腫瘍であれば、効率の良いリンパ節転移の診断が可能であり、画一的な系統的所属リンパ節郭清に代わり、個々の症例において、リンパ節郭清を最適化あるいは省略することが可能になります。適切なリンパ節郭清省略により術後側上肢のリンパ浮腫、可動域制限などが減少し患者の生活の質が向上にすると考えられます。この仮説が適応できることが示されている乳癌、悪性黒色腫に対して 2010 年に保険適応され認められています。2023 年 3 月に子宮頸癌、子宮体癌、外陰癌、頭頸部癌（甲状腺癌を除く）も対象となりました。</p> <p>今回当院に導入された核医学装置は保険診療上認められた CT を搭載した装置です。手術前日の夕方に腫瘍直上皮下に放射性医薬品（^{99m}Tc 標識フチン酸）を注射し、手術当日の朝に核医学装置で撮像をします。得られた画像よりリンパ節の解剖学的な部位を同定することで、手術中に「より効率的に」リンパ節に到達することが出来ると考えられます。リンパ節の解剖学的局在を明らかにすることができるため、今までの画像と新しい装置の画像を比較し有用性があることを検討します。</p>
調査データの該当期間	2019 年 11 月より 2023 年 7 月まで

<p>本研究の対象及び方法 (使用する試料等)</p>	<p>センチネルリンパ節撮像をした 68 名の画像を従来の核医学画像の横断層画像、矢状断画像、冠状断画像（以下 3 方向）と新しい装置の画像より得られる Fusion 画像の 3 方向を解析し、得られた画像を比較して有用性を検討します。</p>
<p>試料・情報の 他の機関への提供</p>	<p>なし</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>収集した情報は、名前など患者様を特定できる情報は除いて匿名化いたしますので個人が特定できる情報が外に漏れる可能性はございません。また、研究成果が学会や学術雑誌などで発表される予定ですが、発表内容に個人が特定できる情報は一切含まれません。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>TEL : 0742-24-1251 担当者 : 岩本 洋香、笹谷 祥子、今井 文</p>
<p>備考</p>	<p>本研究は過去に施行された検査を後ろ向きに検討するのみであり、患者様に新たな検査や費用の負担はありません。また研究の対象となる患者様に対する謝礼もありません。</p>